



安全登山講座を開催しました

2024年3月20日、春分の日に自然教室「奥多摩登山者のための遭難事例と対応」を開催しました。講師は山岳救助隊の方。奥多摩で実際に起きた遭難事例を紹介して下さいました。46名の参加者は皆さん熱心に聞き入り、質問を通じて双方向のやり取りがなされていました。

後半の実習ではツェルトなど普段はなかなか使わない緊急時用装備の使用を体感し、理解を深めました。



第8回山の日全国大会

山の日 TOKYO 2024 プレイベントが奥多摩で開催されました

2024年3月2日、奥多摩駅周辺で山の日 TOKYO 2024 プレイベントが開催されました。

奥多摩ビジターセンターも会場の一つとなり、高尾 599 ミュージアムによるワークショップや、山や自然に関連する展示・体験の場となりました。

山の日メインイベントは
8月10～11日に開催！
詳細はQRコードから。



ちちたまかい ニュース

甲武信ユネスコエコパーク 四大河の源流域 パネル展示中！

奥多摩ビジターセンターでは甲武信ユネスコエコパークのパネル展示を8月21日まで（予定）行っています（月曜休館）。

甲武信ヶ岳や四大河（信濃川、荒川、富士川、千曲川）の源流域ということについて「すごい、その自然に由来した川なんですね。」といった感想が寄せられています。ぜひこの機会にエコパークについて理解を深めませんか？



アクティブ・レンジャー写真展が開催されました

2024年1月18～28日に奥多摩ビジターセンターで「環境省アクティブ・レンジャー写真展」が開催されました。写真展を見た方々からは、「ミクロな視点の写真に心をひかれた」、「次の写真展も楽しみです」といった声を頂き、国立公園を再認識する良い機会となったようです。



奥多摩ビジターセンター
〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川 171-1
TEL: 0428-83-2037
URL: <https://www.ces-net.jp/okutamavc/>
指定管理者: (株) 自然教育研究センター (略称 CES)

Follow me!



3月30日発行

奥多摩の眺望

～美しい眺望はどうして出来たのか？その理由を探る～



2022年2月大羽根山より～雪煙たなびく富士山

おくたんでは、奥多摩を探求し、奥多摩を堪能していただくための情報をお届けします。

奥多摩の眺望

奥多摩の眺望が美しい理由は？今回はそのワケを紹介！

さまざまな理由が、そこにはある。自然の仕組み、人間の取組み・・・その理由を知ると、尤自然の素晴らしさが見えて来る。

理由その① 山がたくさん見える

高層ビルから見る眺望は都会の建物ばかりで、遠くに小さく富士山が見える位です。一方、奥多摩の眺望は山しか見えないうちと比べても過言ではありません。これは日本の自然そのものの風景と言えます。それは、日本の国土全体の約7割が自然の山地・丘陵で成り立っている*1) ことから分かります。

奥多摩から見える富士山は山々の間からひときわ目を引く存在で、やっぱり富士山は印象に残ります。そこで・・・

富士山を眺めるおススメの山9座

① くもとりさん 雲取山
都内最高峰・日本百名山
富士山の眺めもよし

② たれのすやま 鷹ノ巣山
石尾根の秀峰、山頂南面から富士山がよく見える。

③ かわのりやま 川苔山
多くの登山者が訪れる人気の山、山頂でぐるりと周りながら富士山を探してみよう！

④ ほにたやま 本仁田山
山頂の一角がひらけ、その真ん中に富士山が浮かぶ。

⑤ おあたけさん 大岳山
富士山は奥多摩の南、各山頂の南方向に見えるよ！

⑥ せんげんれい 浅間嶺
奥多摩三山、富士山はやや小さいものの、雄大

⑦ ごぜんやま 御前山
その山頂ではなく「展望台」から良く見え、しかも大きく見えるのでおススメ！

⑧ まさよせやま 榎寄山
奥多摩三山最高峰
笹尾根の秀峰

⑨ みとうさん 三頭山
「日本百名山」
深田久弥が1964年に著した本。日本中の数ある山の中から独自の基準で選定した100の名山を紹介した。奥多摩の山では唯一、雲取山が選ばれている。もちろん富士山も。

多摩地区
東京都 23区
山梨県
神奈川県
静岡県

理由その② 遮るものがない

山頂に立っても樹林に遮られ、眺望が得られない山もあります。しかし、奥多摩には眺望を遮る背の高い木が少ないエリアがあるのです。それは「亜高山帯」と「防火帯」です。亜高山帯は都内では左地図の①雲取山の周辺に限られますが、防火帯は主要な尾根上に見られます（左地図の②鷹ノ巣山、③川苔山、⑥浅間嶺、⑦御前山、⑧榎寄山）。防火帯は山頂周辺の尾根上から草原風の景観が現れ、そこから良い眺めが得られる場合もあります。



亜高山帯（雲取山周辺）



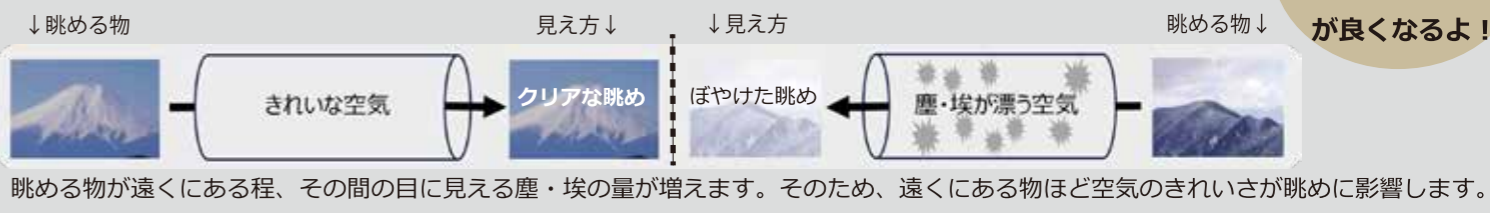
防火帯（石尾根・鷹ノ巣山周辺）

亜高山帯 山に生える植物を垂直分布で分ける区分けの中で上から2番目の区域です。植物の分布（植物が作る山の景観）により4つ（高山帯、亜高山帯、山地帯と低山帯）に分けられています。亜高山帯は針葉樹が多く、背の高い木が少ない区域、奥多摩では雲取山周辺のみに見られます。

防火帯 山火事の延焼を防ぐ為に、尾根筋の樹林を伐採した区域です。
上の写真で言えば左側からくる火の手を止め、右側が焼けてしまうことを防ぎます。

理由その③ 遠くまで見える

奥多摩の空気がきれいいため、遠くの景色がぼやけることなく鮮明に見えます。雲取山の山頂から見える江の島までの距離は60km程（山手線2周分）。この距離を越え眺められるのは空気がきれいな証拠です。



なぜ空気がきれい？
森が空気をきれいにしてくれるのです。森は自身を守るメカニズムを持っています。森は葉から二酸化窒素を寄せ付けない揮発性の香り成分（フィトンチッド）を出して二酸化窒素による樹皮の酸化を防いでいます。この成分が二酸化窒素と結びつくと粒子が重くなり地面に落下します。落下した粒子はバクテリア等によって分解され、最後には森の栄養に！*2)
これは正にSDGs！自然は昔からSDGsを実践しているのですね。

おススメは秋冬。
晴れる日が多く、
木々が落葉し見通し
が良くなるよ！

まとめ 奥多摩の眺望が美しい理由を見てきました。それには自然の作用のほかに人間の活動も関わっていました。そして“自然の作用”の維持には人の行動が大きく関わります。森が荒れると奥多摩の眺望もなくなりかねません。この森の維持には一人一人の行動も大きな要素！今度はそれを意識しながら奥多摩の眺望を楽しみましょう！

*1) 国土技術研究センター HP <https://www.jice.or.jp/knowledge/japan/commentary/07> (2024.1 閲覧)

*2) エステー株式会社 HP <https://products.st-c.jp/plus/question/10355/> (2024.3 閲覧)